

(2次筆記試験) 合格体験記

2019年12月9日

広瀬 祥司

【受験の動機】

私は現時点では化粧品会社に勤務しており56歳です。かつて、実家が経営していた会社を清算した経験があります。その過程で芽生えた「中小企業への想い」それが診断士試験の勉強を始めたきっかけです。その後、学習を進める過程で得られた知識、これまで会社で経験してきたことを活かし、中小企業のために少しでも役に立ちたいと診断士として独立を考えるようになりました。

【昨年までの学習】

今回2回目の2次試験受験で合格できました。

受験当初は、大手予備校に通学という形で勉強を開始しました。そして昨年、一次試験に合格したものの二次試験は不合格。私はもともと文章を書くことは嫌いではありませんでした。そのため初年度は、書籍「ふぞろいな合格答案」やセミナー等を活用するだけで合格できると考えておりましたが、今思えば診断士試験がどういうものかよく理解できていなかったため我流の勉強法での挑戦となり、初めての2次試験直後は、自分なりに書けたという感触もあり合格を期待していましたが、結果は、事例Ⅰ C、事例Ⅱ C、事例Ⅲ B、事例Ⅳ Bという惨憺たる結果でした。特に、事例Ⅲは得意としており高得点を期待していたにも関わらず、想定外の低得点にも愕然としました。

一次試験は学習時間に比例して点は確実に上昇しましたが、二次試験はそうはいきませんでした。どうしたら点を伸ばせるのか、合格者と自分の間にどのような違いがあるのか、理解できていませんでした。一方で二次試験の壁が越えられず多年度に渡って勉強されている方も大勢いることを知りました。そこで危機感を抱き、二次専門の予備校の力を借りようと考え、昨年の12月から多くの予備校説明会をはしごしました。

【SLAを選んだ理由】

受験予備校は6箇所をまわりました。しかし、不確実かつ不透明な試験であるにも関わらず、一方通行の指導で「これがメソッドだ」「答えはこれしかない」と断言する予備校の話を聞きながら、どこかが違うと違和感を持っていました。そのような中、SLAの存在を知り説明会に参加。講師には実際の再現答案の

評価をして頂き、直感的に信頼できると感じた事が SLA を選んだ最大の理由です。少人数で双方向の学習が可能である点と、更に、受講者の合格率が高いことは重要なポイントでした。

【講座を受けてみて】

期待は裏切られませんでした。SLA では受講者が受動的にならず、能動的に学習するような場を与えてくれました。これまで考えた事のなかった、設問分析や構文作成など、基本的な答案作成手順を学ばせて頂きました。ひとつの事例に対して宿題を含めて 10 時間近くを費やす指導には驚きました。そして学習開始後 5ヶ月ほどすると、自分なりに理想とする答案がイメージできるようになりました。「二次試験で高得点をとるのは無理」、しかし「自分ならここまでは書ける」、「ここまではとても書けない」、「これを書くリスクがある」などが分かるようになりました。振り返るとそれが私自身の成長を実感できた瞬間でした。

【受験から合格発表まで】

本試験に向けてやるだけの事はやりました。しかし、合格への自信は持てず、とても不安でした。試験後、すぐに再現答案を作成し SLA に提出はしましたが、それに対する評価を聞きたいとは考えておりませんでした。理由は、すでに理想とする答案像を自分なりに持てており、自分が書いた答案の足りないところも分かっていたためです。去年は「根拠の無い期待」、今年は「根拠のある不安」でした。

【合格発表の日】

12月6日午前10時、協会のホームページで自分の受験番号を探しました。私の受験番号があるみたい…。あるみたい…。確信がもてなかったのは、最近、小さな字が見えにくくなっており、6と8を見間違えることがたまにあるからです。画面を拡大し見間違えではないかと何度も確認しました。間違いありませんでした。自分が選択してきた方法に間違いがなかったと確信できた瞬間でもありました。

【最後に】

現時点ではまだ診断士になったわけではありません。スタートラインに立とうとしているだけです。これまでの努力、周囲の協力や応援を無駄にしないよう、これからも走り続けたいと思います。ここまで導いてくださった倉前先生、切磋琢磨して来た仲間たち、家族や友人へ感謝致します。本当にありがとうございました。